

令和2年度 原宿地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化の進行に加え、家族介護力の脆弱化、かかわりの希薄化も進み、特に認知症により理解力・判断力が低下した利用者やその家族への対応については、個々のケースに応じ臨機応変に対応していくことが求められている。地域ケアプラザの支援に加え、地域の皆さまにもご協力頂けるよう、住民一人ひとりの自助努力や備え、および地域住民による共助などの取組を支援していく。また、地域の声を大切に、目指すべき方向を確認しながら、講座や集いの場の開催、色々な活動団体などとの連携を通して地域福祉力の向上に努める。近年、活動団体の高齢化などにより、会の解散や縮小、また担い手不足が顕著に表れてきているため、関係機関とも連携を行いながら、新たな担い手の発掘など、継続的に地域活動ができるような支援が求められている。また、昨年度から第3期大正地区ハートプランの振り返り及び第4期計画の策定が開始され、町内会自治会、地区社協、地域の団体や区役所などとも連携を密にしながら策定を行っていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>【社会資源の開拓・開発・支援】</p> <p>とつかハートプランを町内会・自治会等と一体的に取り組むことにより、社会参加や活動の場を充実させていく。関係機関と協力し、継続してハートプランの周知も行っていく。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【ネットワークの構築・支援】</p> <p>地域活動から見えてきた課題解決に向けて、地域と専門職、学校等が情報共有・連携し、新たな居場所や交流の場の創出を行い、引き続き課題の解決に向けた支援を行っていく。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>【認知症支援事業】</p> <p>地域の集まり・会合に参加することで顔の見える関係作りを行い、その中で地域住民に対する認知症の周知の機会を作っていく。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>【地域ケア会議】</p> <p>個別ケースケア会議で抽出した地域課題を、専門職や多職種を交えた包括レベル地域ケア会議で検討する。</p>

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は新型コロナウイルス感染症により、最新で正しい情報を確認し、感染症対策を実施しながら、地域の方々への支援や施設や企業等との連携を行った。その中で第3期とつかハートプラン地区別計画振り返りと第4期計画策定に向けて、地区社会福祉協議会、連合町内会自治会、区役所等と連携し一体的に取り組み、食品配布会やフリーマーケット等を活用しハートプランの周知活動を行うことができた。また、コロナ禍において、地域課題も変化してきている。コロナと共生を考え、新しい生活様式を取り入れながら「スマホ教室」や「ウォーキング講座」等を開催し、地域課題の解決に向けた支援を行っている。

認知症支援事業では、より多くの地域の方々へ認知症への正しい理解と対応を広めていくために、協力医による認知症の住民向け講座を開催した。地域活動でも認知症の相談を受けるケースもあり、区役所等とも連携しながら、認知症初期集中支援チームにつなげる支援も行うことができています。

地域ケア会議（個別ケース）については、認知症独居高齢者で物盗られ妄想がある方の会議を1回開催した。医療関係者や司法書士等も参加し、多角的視点で検討を行なうことができた。今後も多職種連携を継続して行い、地域課題を整理し解決に向けた支援を行っていく。

## □ 区からのコメント

新型コロナウイルス感染症により様々な活動が停滞する中、地域の方々や関係機関と連携を取りながら、第4期とつかハートプラン地区別計画の策定を支援しました。策定の支援をしました。来年度は、新しい計画の推進初年度となりますので、引き続き地域の皆さんとのコミュニケーションを取りながら、様々な機会を捉えたとつかハートプランの周知や、新しい生活様式を取り入れた地域課題の解決に向けた企画・立案を進めていくことを期待します。

認知症に関しては、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられることが求められています。地域の方からの相談を受けるケースが今後増えることも想定し、引き続き区との情報共有や認知症初期集中支援チームの活用などの体制づくりを進めてください。

地域ケア会議については、課題に応じた専門職を交えながら意見交換するなど、他職種連携が進んでいます。引き続き、地域の中で課題や意識の高いテーマや、課題解決に連携が必要なテーマについて検討を進めることを期待します。

# 令和2年度原宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>①自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努める。</p> <p>②居宅介護支援事業所にケアプランを作成を依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際に、特定の事業所に偏らないようにする。</p>	<p>倫理・サービス、事故防止や個人情報保護について研修を実施する。</p> <p>ヒヤリハットや事故が起きた際には、記録にとどめ、当日のうちに事故原因を検証し、具体的な予防策をたてて、再発防止に努める。</p>
実績	<p>①自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努めた。また、自主事業や貸館の申込方法については、広報紙などを活用し地域住民への周知も行った。</p> <p>②居宅介護支援事業所でケアプランを作成する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し、特定の事業所に偏らないように努めた。</p>	<p>職場研修において、倫理・サービスや個人情報保護等の研修を実施。(コロナ禍のため外部研修は参加せず)各部署会議や全体会議等で事故について対策も含め状況報告をし、職場全体で事故防止に取り組む姿勢をもつようにした。</p>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>プランの中に給付以外の地域のインフォーマルサービス等を組み込む等、地域の特性を生かし、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援ができています。</p>	<p>地域包括ケアシステム構築に向けて、重介護を要する状態となっても住み慣れた地域でその人らしく、自立した生活を送ることができるよう、地域の方々、介護・医療・福祉等の各関係機関と連携し、利用者の意向に沿ったケアプランを立案しケアマネジメントを行っていく。</p>
利用料金・実費負担	利用者負担はなし。	利用者負担はなし。
職員体制	<p>地域包括支援センター三職種4名 介護予防支援事業所担当職員1名</p>	<p>居宅介護支援事業所管理者1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員1名(常勤専従) 介護支援専門員3名(うち常勤兼務1名、常勤専従2名)</p>
契約者数	<p>要支援1 116名 要支援2 120名</p>	<p>要介護1 29名、要介護2 43名、要介護3 13名 要介護4 10名、要介護5 7名、合計 102名</p>

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<p>住み慣れた地域、在宅において、少しでも長く暮らせるように在宅生活の継続に資する活動に取り組み、介護者の負担を軽減できるように支援していく。学校や活動団体等との交流や関係機関との連携を深め、地域貢献、地域福祉のより良い担い手(事業所)となれるように努める。</p>	<p>役割を持つことによって認知症の進行を緩和し、生活機能を維持向上し、住み慣れた地域、在宅での生活を可能な限り継続できるように支援していく。</p>	

実施体制	<p>【実施日数】 週6日(12/29~1/3は除く) ※令和3年1月1日より週6日 (令和2年12月31迄は週7日実施)</p> <p>【提供時間】 9時25分~16時25分</p> <p>【定員】40名</p>	<p>【実施日数】 週2日(12/29~1/3は除く)</p> <p>【提供時間】 9時25分~16時25分</p> <p>【定員】8名</p> <p>令和3年6月開設予定</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>
利用料金・費負担	<p>【通所介護】1割負担分 (要介護1)695円(要介護2)820円 (要介護3)951円(要介護4)1,081円 (要介護5)1,212円 ・食費負担800円、入浴加算54円/回、サービス提供体制強化加算(I)イ20円/回、中重度者ケア体制加算49円/回、認知症加算65円/回、同一建物居住者の送迎減算△101円/日、送迎減算(片道)/△51円</p> <p>【第一号通所事業】1割負担分 (要支援1)1,775円、(要支援2・週1回程度)1,775円、(要支援2・週2回程度)3,638円 ・食費負担800円、サービス提供体制強化加算(I)イ 要支援1:78円/月 要支援2(週1回程度利用):78円/月 要支援2(週2回程度利用):155円/月、同一建物居住者の送迎減算 要支援1:△403円/月 要支援2(週1回程度利用):△403円/月 要支援2(週2回程度利用):△807円/月</p> <p>【共通】介護職員処遇改善加算(I)1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数、介護職員等特定処遇改善加算(I)1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(ともに利用者毎に異なる)</p>	<p>・1割負担分 (要介護1)1,076円 (要介護2)1,194円 (要介護3)1,310円 (要介護4)1,428円 (要介護5)1,545円 ・食費負担800円 ・入浴加算55円/回 ・サービス提供体制強化加算(I)イ20円/回:介護職員総数のうち、介護福祉士割合が50%以上 ・同一建物居住者の送迎減算 △103円/日 ・送迎減算(片道) △52円 ・介護職員処遇改善加算(I)1ヶ月の総単位数に10.4%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) ・介護職員等特定処遇改善加算(I)1ヶ月の総単位数に3.1%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)</p>	
職員体制	<p>管理者1名(常勤兼務) 生活相談員7名(常勤兼務1名 常勤介護職兼務6名) 看護職員6名(非常勤兼務・機能訓練指導員兼務) 介護職員16名(常勤兼務10名 うち生活相談員兼務6名 非常勤兼務6名) 調理職員6名(常勤1名・非常勤5名) 運転手2名(非常勤)</p>	<p>管理者1名(常勤兼務) 生活相談員7名(常勤兼務1名 常勤介護職兼務6名) 看護職員6名(非常勤兼務・機能訓練指導員兼務) 介護職員16名(常勤兼務10名 うち生活相談員兼務6名 非常勤兼務6名) 調理職員6名(常勤1名・非常勤5名) 運転手2名(非常勤)</p>	
契約者数等	<p>【延べ利用者数】 9,498名</p> <p>【契約者数】 97名</p>	<p>【延べ利用者数】 0名</p> <p>【契約者数】 0名</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>

令和2年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,524,554	1,105,005	15,629,559	15,629,559	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	2,700	△ 2,700	
雑入	0	0	0	19,521	△ 19,521	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	11,041	△ 11,041	
その他			0	8,480	△ 8,480	
その他	4,690,000		4,690,000	4,959,445	△ 269,445	
収入合計	19,214,554	1,105,005	20,319,559	20,611,225	△ 291,666	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,941,573	0	10,941,573	11,709,698	△ 768,125	
本俸	7,691,000		7,691,000	7,308,868	382,132	
社会保険料	1,090,000		1,090,000	1,067,160	22,840	
手当計	1,801,573		1,801,573	2,986,601	△ 1,185,028	
健康診断費	64,000		64,000	57,624	6,376	
勤労者福祉共済掛金	151,000		151,000	150,188	812	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	126,000		126,000	126,207	△ 207	
その他	18,000		18,000	13,050	4,950	インフルエンザ予防接種代
事務費	1,650,041	0	1,650,041	1,754,182	△ 104,141	
旅費	33,000		33,000	18,520	14,480	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	260,000		260,000	191,458	68,542	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	95,000		95,000	78,954	16,046	コピーカウント・名刺・年賀状印刷代
通信費	358,000		358,000	353,411	4,589	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便等
使用料及び賃借料	0	0	0	7,040	△ 7,040	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	7,040	△ 7,040	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費	43,000		43,000	42,768	232	新聞
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	23,000		23,000	2,765	20,235	研修参加費
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	振込手数料
リース料	28,000		28,000	25,986	2,014	玄関マットレンタル代
手数料	166,000		166,000	24,684	141,316	OA銀行、労士顧問料
地域協力費	8,000		8,000	3,462	4,538	来客用お茶代
その他	635,041		635,041	1,005,134	△ 370,093	監査報酬、OA保守料、諸会費、Wi-Fi設備等
事業費	344,542	100,000	444,542	318,160	126,382	
運営協議会経費	42,000		42,000	4,000	38,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	302,542		302,542	3,740	298,802	
その他		100,000	100,000	310,420	△ 210,420	ICT環境整備事業
管理費	4,710,241	0	4,710,241	4,486,931	223,310	
光熱水費	2,724,241		2,724,241	2,366,123	358,118	
清掃費	1,080,000		1,080,000	1,079,370	630	施設日常清掃業務等
機械警備費	85,000		85,000	84,676	324	施設警備
設備保全費	821,000	0	821,000	824,014	△ 3,014	
空調衛生設備保守	161,000		161,000	160,592	408	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	78,000		78,000	77,863	137	消防設備点検
電気設備保守	98,000		98,000	97,943	57	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	24,000		24,000	23,359	641	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	460,000		460,000	464,257	△ 4,257	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理
共益費			0	0	0	
その他	0		0	132,748	△ 132,748	塵芥処理
修繕費	474,000	1,005,005	1,479,005	1,479,005	0	予算：指定額
公租公課	1,094,157	0	1,094,157	1,170,969	△ 76,812	
事業所税			0		0	
消費税	1,094,157		1,094,157	1,170,969	△ 76,812	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,214,554	1,105,005	20,319,559	20,918,945	△ 599,386	
差引	0	0	0	△ 307,720	307,720	

自主事業費 収入	50,000	0	50,000	2,700	47,300	
自主事業費 支出	50,000	0	50,000	3,740	46,260	
自主事業 収支	0	0	0	△ 1,040	1,040	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	11,041	△ 11,041	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	7,040	△ 7,040	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	4,001	△ 4,001	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	39,762,320		39,762,320	28,298,830	11,463,490	横浜市より
指定管理料【介護予防】	117,000		117,000	117,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	9,800	△ 9,800	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	4,600	△ 4,600	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	3,660,000		3,660,000	986,718	2,673,282	
収入合計	49,334,320	0	49,334,320	35,211,948	14,122,372	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,186,407	0	45,186,407	32,065,574	13,120,833	
本俸	17,760,000		17,760,000	17,446,770	313,230	
社会保険料	4,265,000		4,265,000	4,288,083	△ 23,083	
手当計	9,150,000		9,150,000	9,095,661	54,339	
健康診断費	54,000		54,000	38,650	15,350	
勤労者福祉共済掛金	852,000		852,000	717,562	134,438	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	460,000		460,000	461,298	△ 1,298	
その他	12,645,407		12,645,407	17,550	12,627,857	インフルエンザ予防接種代
事務費	1,589,154	0	1,589,154	1,530,897	58,257	
旅費	79,000		79,000	48,246	30,754	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	370,000		370,000	139,139	230,861	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	105,000		105,000	101,780	3,220	コピーカウント、名刺・年賀状印刷代
通信費	354,000		354,000	338,377	15,623	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	96,000		96,000	44,935	51,065	研修参加費
振込手数料	2,000		2,000	660	1,340	振込手数料
リース料	28,000		28,000	25,986	2,014	玄関マットレンタル代
手数料	166,000		166,000	25,284	140,716	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	6,000		6,000	0	6,000	来客用お茶代
その他	383,154		383,154	806,490	△ 423,336	監査報酬、OA保守料、諸会費、HP運用管理
事業費	1,180,684	0	1,180,684	296,758	883,926	
協力医	630,000		630,000	126,000	504,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	118,684		118,684	43,927	74,757	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	117,000		117,000	117,002	△ 2	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	9,829	305,171	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,252,075	0	1,252,075	1,192,719	59,356	
光熱水費	721,075		721,075	628,969	92,106	
清掃費	287,000		287,000	286,919	81	施設日常清掃業務等
機械警備費	23,000		23,000	22,508	492	施設警備
設備保全費	221,000	0	221,000	219,036	1,964	
空調衛生設備保守	43,000		43,000	42,688	312	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	21,000		21,000	20,697	303	消防設備点検
電気設備保守	27,000		27,000	26,035	965	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,209	791	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	123,000		123,000	123,407	△ 407	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理
共益費			0	0	0	
その他			0	35,287	△ 35,287	塵芥処理
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0		0	
支出合計	49,334,320	0	49,334,320	35,211,948	14,122,372	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	15,000	0	15,000	9,800	5,200	
自主事業費 支出	15,000	0	15,000	170,758	△ 155,758	
自主事業 収支	0	0	0	△ 160,958	160,958	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市原宿地域ケアプラザ

2020年4月1日~2021年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				13,008	11,976	1,032	22,298	21,781	517	95,434	79,108	16,326	4,750	5,504	-754
	その他	0	0	0	0	0	0	0	3	-3	22,131	22,547	-416	587	694	-107
	負担金・利用料入金			0			0			0	20,801	21,234	-433	587	694	-107
	受取利息配当金収入			0			0			0			0			0
	寄付金			0			0		3	-3			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,330	1,313	17			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,008</b>	<b>11,976</b>	<b>1,032</b>	<b>22,298</b>	<b>21,784</b>	<b>514</b>	<b>117,565</b>	<b>101,655</b>	<b>15,910</b>	<b>5,337</b>	<b>6,198</b>	<b>-861</b>
支出	人件費			0		17	-17	19,503	19,045	458	78,092	70,418	7,674	5,337	6,198	-861
	事務費			0			0	1,562	1,530	32	13,158	11,634	1,524			0
	事業費			0			0	28	103	-75	17,363	15,155	2,208			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	10,704	9,668	1,036	0	0	0	1,387	1,365	22	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0	117	116	1			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	10,704	9,668	1,036			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,270	1,249	21			0
	<b>支出合計(B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10,704</b>	<b>9,685</b>	<b>1,019</b>	<b>21,093</b>	<b>20,678</b>	<b>415</b>	<b>110,000</b>	<b>98,572</b>	<b>11,428</b>	<b>5,337</b>	<b>6,198</b>	<b>-861</b>
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,304</b>	<b>2,291</b>	<b>13</b>	<b>1,205</b>	<b>1,106</b>	<b>99</b>	<b>7,565</b>	<b>3,083</b>	<b>4,482</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	--	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	頑張るシニアの元気UP健康サロン	平成29年度～	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	健康意識を継続して頂くために定期的に健康に関する講座を実施する。また、近隣施設に協力を仰ぎ(講座や準備等)、顔の見える関係づくりを行う。	1:高齢者	5	日程:偶数月の原則第1金曜日 時間:10時～11時30分 場所:けいあいの郷影取 内容:健康に関する講座とサロン。講師は近隣施設と外部講師で担当。お茶を飲みながら、地域の方々からの相談を日常会話を通して受け付けるような形で行っている。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	0	0
2	生活支援体制整備事業協議体	平成28年度～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	①多様な主体間の情報共有、連携体制の構築 ②地域情報や課題の把握 ③地域づくりにおける意識の統一 ④新たなサービス創出	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 内容:地域の強みや地域住民が関心を持つことができ、集まりやすいテーマ等のグループワーク。サービス創出に向けた意見交換。	3	19
3	ボランティア情報交換会	平成29年度～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動についての情報交換や共有を行なうことを目的とする。(活動の継続や新たな活動に結び付けられる機会づくり。活動の悩み等を報告できる機会となっている。)	1:高齢者	5	実施時期:年5回程度 ①参加者の活動報告や活動しているの悩みや困りごとの共有。 ②新たな活動の場や機会を見出し、ネットワーク構築を行う。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止。	2	15
4	よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会	平成28年度～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」と介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすることを目的とする。	1:高齢者	5	実施時期:11月頃(年1回) 内容:よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会と地域の高齢者福祉施設を招き事業所紹介(ボランティア募集について)を実施。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	0	0
5	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	平成28年度～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	様々な主体による多様な支援の活動報告や介護予防・生活支援の充実した地域づくりのための情報提供、ケアマネジャー同士の関係構築、介護保険制度や社会福祉資源の情報共有等を行う。	6:事業者	5	実施時期:年2回程度 内容:インフォーマルサービスや横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業等の情報提供。ケアマネジャー向け研修会の開催。民生委員の研修会も同時開催。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止。	1	12
6	知っ得講座	平成30年度～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護保険申請やケアマネジャーの役割、福祉用具や住宅改修等についての講座を実施し、住み慣れた地域でより安心した老後を迎えることができるような情報を周知していく。	1:高齢者	5	実施日:8/31、9/29、10/29 時間:13時30分～15時頃 内容:包括支援センター職員による介護保険制度の周知及び福祉用具の事業所による住宅改修、成年後見制度等の説明。	3	45
7	シニアボランティア受入施設連絡会	平成28年度～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティアの受入体制や活動状況、活動団体等について情報交換・共有を行い、ボランティア活動等を通して施設として行っている取り組みを地域の方々に発信していく。	6:事業者	5	実施時期:11月頃(年1回) 内容:各施設が取り組んでいるボランティアの受入等について情報交換・共有を行う。また、ボランティアを確保するための成功事例や地域貢献活動について共有する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	0	0
8	終活講座(エンディングノート編)	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	終活講座(エンディングノート編)を行うことで、安心して生活ができるような情報を発信していく。	1:高齢者	5	実施日:8/29、9/30 時間:13時30分～15時頃 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:戸塚区版エンディングノートをもとに講座の予定。	2	30
9	携帯電話講座	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民を対象にスマートフォンの基本的な使い方(カメラやメール等)について講座を行い、子どもや孫世代とのコミュニケーションツールとなるように情報発信していく。	1:高齢者	5	実施日:11/10・20・24、12/8 時間:10時～11時、13時30分～14時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマートフォンの使い方講座等	4	25
10	森のカフェこすずめ	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	小雀町の現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。	5:地域	1	実施日:原則第3金曜日 時間:14時～16時 場所:小雀町内会館 内容:どなたでも参加できる地域向けのカフェ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	0	0
11	障がい学習会	平成28年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通し、地域に必要なサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげる。	3:養育者及び乳幼児	5	対象:障がいをお子様を抱えている保護者 会場:大正地区センター 日程:年4回程度。10～12時 内容:障害のあるこどもたちがいきいきと個性を活かして地域になるにはとのことで意見交換。大正小学校の個別支援級在籍の児童を対象としてスタートしたが少しずつ広がっていく。	3	64
12	子育て連絡会	平成20年度～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援に関わる関係機関同士のネットワークの構築、ダブルケア、虐待防止などに対応していくため、子育て分野、高齢者支援分野との連携も目的としている。	3:養育者及び乳幼児	5	会場:原宿地域ケアプラザなど 日程:年3回程度 時間:10～12時 ・区役所、とつとの芽、ケアプラザ共催 内容:エリア内外で活動する子育て支援関係機関、当事者サークル、高齢者施設の皆さんと地域の現状と課題について意見交換を行った。	3	53

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	原宿ふれあいマーケット	平成28年度～	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	原宿商店街主催のふれあいフリーマーケットは地域住民同士の交流と地域の活性化を目的に年2回開催。フリーマーケットのほか、活動団体の発表、学生ボランティアによる子どもの遊びの支援などを行う。	5：地域	5	会場：医療センター公開空地 日程：年2回程度。10～14時 内容：原宿ケアプラザとしては、学生ボランティアのコーディネートやキッズコーナーの遊具の手配をプレイパークから手配をする。参加団体や参加者も増えており、引き続き地域の問題解決のために商店会さんも含め連携をしていく。	0	0
14	大正プロジェクト	平成28年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいのある子どもたちが、障害の有無に関わらず地域の人たちと関わりながら豊かに過ごせる活動の場、交流を通して、成長を見守ってくれる地域のサポーターを増やすこと。	4：子ども・青少年	5	日程：年8回程度。原則第4水曜日 時間：14時～17時 場所：大正地区センター 内容：現在地区センターのお部屋をお借りし、大正小学校個別支援級在籍の子どもたちを対象にした居場所プロジェクトとして平成29年3月からスタートする。また、民生委員、学団隊、高齢者施設・障害者施設の職員、ボランティアなどと協力し開催している。	3	25
15	東北チャリティイベント	平成23年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザ貸し館団体の活動発表、大正地区の住民たちの交流とケアプラザ事業の周知。また、売り上げは東北で復興支援や子どもの支援をしている団体等に寄付。	5：地域	5	日程：5月 場所：原宿地域ケアプラザ 時間：10時～15時 内容：ケアプラザ利用団体の活動発表、コーヒー提供、東北物産の販売、障がい者施設による軽食の販売、大型紙芝居などを実施。売り上げは東北で復興支援や子どもの支援をしている団体等に寄付	0	0
16	手話講座	平成29年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	精神障害普及啓発事業として開催。 当事者の講話や実際使っている手話を学ぶことにより、障害への理解を深める事につなげていく	5：地域	5	日程：2月～3月(全3回) 場所：原宿地域ケアプラザ 時間：10時～12時 内容：手話の基礎を中心としたプログラム。 挨拶や自己紹介を手話で表現できるようにしていく。	0	0
17	傾聴ボランティア養成講座	平成23年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	独居の高齢者、日中独居の方、施設入所者、高齢者サロン、介護をしているご家族の方を対象にした傾聴活動ボランティアの育成を目的とする	5：地域	1	日程：8月～9月 時間：13時半～15時半 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：シニアライフセラー研究所の先生を講師に3回の傾聴の基礎についてワークを中心に実施。戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会の川原先生を講師に認知症サポーター養成講座、既存の傾聴グループの方にも参加していただき傾聴の活動の様子などの紹介。	3	73
18	原宿ふれあい文化祭	平成29年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域住民の日常からのつながり作りを目的として開催。また、ケアプラザ利用団体の活動発表、近隣障がい者施設の商品販売等を実施することにより、活動団体同士の交流や、事業の継続を図る。	5：地域	5	日程：11月 時間：10時～15時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：ケアプラザ利用団体の活動発表、コーヒー提供、障がい者施設による軽食の販売などを実施。	0	0
19	おしゃべりカフェ	平成30年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ケア会議などで、住民より地域の居場所が少しでも出来ればとお声を多数頂いたため、平成30年度よりケアプラザにてカフェをオープンすることとなった新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。	5：地域	1	日程：毎月第1木曜日 時間：14時～16時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：地域の方ならばどなたさまでも参加できるカフェ特にイベントなどは実施しないが、今度皆さまの声を確認しながら行っていく	3	64
20	たいしょう食堂	令和元年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子どもから高齢者までどなたでも参加できる食堂を令和元年度から地区センターを会場として開催。 多世代交流と子どもの孤食予防を大きな柱として、各種団体等と連携しながら実施。次年度以降自主化と継続的な運営ができるように後方支援行っていく。	5：地域	5	実施日：年4回 時間：11時30分～14時00分 場所：大正地区センター 内容：食事の提供と、多世代交流を目的として開催。	3	360
21	成年後見制度について	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	成年後見制度に対する偏見や先入観を払拭するため、高齢者や地域住民を対象に勉強会を開催する。	1：高齢者	5	成年後見制度に力を入れている専門職に講師を依頼し、地域住民に対し同制度の概要、利用することの利点などを周知した。 10月29日開催。	1	15
22	よつばの会講習会	平成20年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	介護者の集いである「よつばの会」において、会員の要望を反映させたテーマでの講習会を年1回開催し、介護や日常生活の中で役立ててもらおう。	1：高齢者	5	会員の希望により、今回のテーマは「高齢者の食事(低栄養・骨粗鬆症予防)」について薬品会社の管理栄養士を講師に招き、勉強会を開催した(10月23日)。	1	10
23	消費者被害を未然に防ぐ講座	令和1年度	6：共催(2と3)	1：優先的に取り組み	消費者被害を未然に防ぐことと、万が一被害を受けた場合の対応について、主に高齢者を対象に勉強会を通じて周知する。	1：高齢者	5	横浜市消費生活総合センター等の出張講座により実施予定(年1回)。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	0	0
24	楽しくトレーニングしよう会	平成21年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	エリアの保健活動推進員と共催で「はまちゃん体操」や「ハマトレ」「脳トレ」などを実施し介護予防の普及啓発と体操等に従事するボランティアの育成を行う	1：高齢者	1	実施期間：4月～3月(月1回日曜日) 時間：10時～11時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：体操、脳トレを実施 *新型コロナウイルス感染拡大予防のため4～8月、1～3月は中止。今年度は4回実施。	4	59
25	原宿コグニサイズの会	平成30年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症予防教室を地域高齢者のグループと共催で開催することで、仲間づくりや社会参加をすすめて、認知症予防にも努める	1：高齢者	1	実施期間：4月～3月(月1回土曜日) 時間：10時～11時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：コグニサイズ、認知症予防講座 *新型コロナウイルス感染拡大予防のため4～8月、1～3月は中止。今年度は4回実施。	4	69

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
26	健康講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症予防や疾病予防のための知識を得てもらうことで、健康や介護予防への関心を高めてもらえるよう普及啓発を行う	1:高齢者	1	実施日:11月26日 時間:13時30分~14時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:協力医による認知症の症状とPTSDの対応方法についての講座を実施。	1	25
27	認知症予防講座 音楽療法	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域高齢者を対象に、認知症予防を目的とした講座を開催する。	1:高齢者	1	実施日:11月22日 時間:10時30分~11時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:音楽療法士による歌やリズム、回想法を実施。	1	30
28	お医者さんとの上手な話し方	令和2年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病院との関わり(医師等)を含め、地域の方々に周知をしていきたい。	5:地域	1	実施時期:2月3日 内容:お医者さんと上手に話をするコツについての講義。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	0	0